

## 北谷町コミュニティバス導入の基本方針

平成 27 年 5 月 11 日町長決裁

北谷町民アンケート調査による利用者ニーズを踏まえ、導入による地域活性化や多岐分野に波及する事業効果向上及び新たな連携事業の創出に推進すべく、次のとおり基本方針をまとめた。

## 1 コミュニティバスの導入目的

## (1) 交通弱者等の生活の質の維持・向上

自家用車を運転できない交通弱者や、運転に不安がある方の日常生活及び社会生活に必要な移動手段を確保することで、生活の質の維持・向上を目指す。

## (2) 公共交通空白地域の改善・解消

どの地域に住む町民でも公共交通を通して外出できるよう、公共交通空白地域の改善・解消を図りつつ、町民生活に密着した施設へのアクセスの充実を目指す。

## (3) 観光客の移動の利便性・回遊性向上

便利で利用しやすい公共交通は、観光振興の基盤として重要であり、観光資源をつなぐコミュニティバスの導入によって観光客の移動の利便性・快適性の向上を目指す。

## (4) 公共交通全体の活性化

コミュニティバスと路線バスとの共存・連携と役割分担により、面的な公共交通ネットワークを形成し、町内の公共交通全体の活性化を促すことを目指す。

## 2 コミュニティバスの導入のあり方

## (1) 本格運行に向けた実証運行を実施する

コミュニティバスの実際の利用ニーズや利用傾向、運行の効率性・定時性・安全性、事業収支等を把握するために、通年の実証運行を概ね 3 年～5 年程度実施し、その結果を検証した上で、本格運行のあり方について検討する。

## (2) 必要最小限（スモール）からスタートし、随時必要な改善を行う

実証運行は、実際の利用状況や運行状況等を把握し、適切な運行のあり方を検証することを目的としていることから、実施に当たっては必要最小限のサービス内容からスタートした上で、PDCA（計画・実行・検証・見直し）サイクルにより評価・検証を行い、随時、必要な改善を行う。

## (3) 既存の公共交通機関と役割分担し、共存・連携を図る

路線バスは町外への広域的な移動に重要な交通手段であり、また、タクシーは24時間運行し、ドア・ツー・ドアで乗客を運ぶ利便性の高い交通手段である。

町民や観光客の多様な移動ニーズに応えるためには、それぞれの交通機関がその特性を活かすことが重要であり、コミュニティバスは既存の公共交通機関（路線バス、タクシー）と役割を分担し、共存・連携を図ることとする。

(4) 地域全体で連携・協働した運行に取り組む

コミュニティバスの利便性を高め、安定的に運行を続けるためには、行政だけでなく、町民、団体、企業など地域全体で自らの地域の移動手段を支える意識が必要である。そのため、それぞれの協力や連携の下でコミュニティバスを運行していくための協力体制づくりに取り組んでいく。

(5) 町教育委員会の通学バスと役割を分担する

コミュニティバスの実証運行は、適切な運行のあり方を検討するためのデータ収集を目的としているため、実証運行段階においては北谷町教育委員会が運行する通学バスとの連携は考慮せず、運行のあり方を検証する段階において、通学バスとの連携可能性を検討する。

### 3 コミュニティバスの運行条件

(1) 利便性・快適性、効率性及び採算性を考慮したサービス水準を設定する

地域住民や観光客のニーズに合った利便性・快適性を確保しつつ、運行の効率性及び採算性を考慮して、運行のルートや頻度、ダイヤ、運賃等のサービス水準を設定する。

(2) 主要な商業施設、観光施設、医療機関及び公共公益施設を経由する

町民や観光客の移動目的に対応した運行を行うために、コミュニティバスは利用ニーズの高い商業施設、観光施設、医療機関及び公共公益施設等を可能な限り経由する。

(3) 路線バスと可能な限り重複しないルートを運行する

路線バス事業者への影響を極力抑えるとともに、公共交通空白地域の改善・解消を図り、新たなバス利用のニーズを掘り起こすため、コミュニティバスは可能な限り路線バスと重複しないルートを運行する。

(4) 公共交通のネットワークを形成するため路線バスと接続する

町内の公共交通のネットワークを形成し、バスを通じた町外への移動利便性を高めるために、ルートやダイヤなどの面で、コミュニティバスと路線バスとの接続に配慮する。

(5) 利用者の信頼を損ねないよう定時性を確保する

公共交通は時刻表通りに運行することが重要なため、利用者の信頼を損ねないよう定時性の確保に努める。

#### 4 コミュニティバスの運行によって期待される波及効果

##### (1) 高齢者の健康増進及び生きがいづくりへの貢献

社会教育施設や健康増進施設、運動施設へのアクセス性を高めることによって、高齢者等の学習活動や娯楽・趣味、健康・スポーツ活動、社会活動への参加を促し、生きがいづくり及び健康づくり、様々な交流の場への参加促進につながることを期待される。

##### (2) 観光地としての魅力の向上への貢献

便利で利用しやすい移動手段の導入により、町内の観光資源への訪問を促し、観光客に本町の様々な魅力を体験・体感してもらうことで、観光地としての魅力の向上が期待される。

##### (3) 地域間交流の促進への貢献

町内各地を運行する移動手段の導入によって地域間の移動利便性を高めることで、町民同士の交流の促進及び商業地域の活性化に寄与することが期待される。

##### (4) 町内の交通安全への貢献

自動車の運転に不安を抱える高齢者が、移動手段をコミュニティバスへ転換することで交通事故の危険性が減少し、町内の交通安全に貢献することが期待される。